宮鍼会報

2017/9/30 No. 005

会長あいさつ

青年部員＆学生が行く！治療院訪問～前編

仙台国際ハーフマラソン救護ボランティア

子育て支援・スキルアップ研修

東北鍼灸学会 in 山形

県民公開講座

ようこそ宮鍼会へ！新入会員インタビュー

会員リレーコラム「東洋医学コンシェルジュ」

下半期行事予定

発行：公益社団法人　宮城県鍼灸師会

HP:　miyagi.harikyu.or.jp/

会長コラム～会の守備固めをしっかり！

早いもので、今年度も半分が過ぎました。長雨のせいで夏らしい暑い日が少なく、季節がひとつ飛んで、この半年間はいつもより早く感じます。

さて、公益社団になって３年目の昨年７月に、初めて行政庁（県）が立ち入り調査に来ました。ほぼ丸１日掛かりで、これまでの社団法人の時とは比べ物にならないくらい細かく隅々まで調べられました。結局、行政庁の言わんとするところは「公益社団を名乗る訳だから、しっかりやりなさい！」ということだろうな？　と理解しました。

結果、指摘事項もかなりの数に上り、そのための修正等の作業を、正副会長および前会長の樋口先生と時間をかけて行って参りました。

今年度総会では、改正した定款および、それに付随する諸規程について審議をしていただき、下記の結果となりました。これから色々な事業を展開する上でも、ルールがきちんと整備されていなければ、思わぬ失態を招きかねません。今回は定款と規程を整備したことで「しっかりと宮鍼会の守備固めをした」と言う気持ちになっています。

しっかり守備固めをしたところで攻撃に転ずべく、後半の事業も力強く進めて参ります。引き続き、皆さまのご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

会長　稲井 一吉

公益社団法人宮城県鍼灸師会　平成 29 年度　定時総会

議事録抜粋（誌面の関係上、結果だけを掲載します）

開催日時　　平成 29 年 5 月 14 日(日)　　午後 3 時 30 分～ 午後 5 時
開催場所　　エル・ソーラ仙台　研修室
出席者数　　22 名　　委任状　25 名　　合計　47 名

【審議事項】

第 1 号議案

１、平成 28 年度事業報告　２、平成 28 年度決算報告　３、平成 28 年度監査報告
拍手多数で承認された。

第 2 号議案　定款改正の件について
拍手多数で承認、可決された。

第 3 号議案 総会運営規則、 **第 4 号議案** 入会金及び会費規程、 **第 5 号議案** 役員報酬規程、
第 6 号議案 費用弁償等経費支出規程、 **第 7 号議案** 入退会規程等の諸規程
上記の議案について、拍手多数で承認、可決された。

第 8 号議案　平成 29 年度事業計画(案) 、 **第 9 号議案**　平成 29 年度予算(案)
上記の議案について、拍手多数で承認された。

第 10 号議案　樋口秀吉氏の名誉会長承認の件
拍手多数で承認決議され、樋口秀吉氏が名誉会長に就任した。

第 11 号議案　議事録署名人の選出について
第 2 号議案の定款改正を受け、議事録署名人を選出した。今総会の議事録署名人を執行部が次の者を指名し、それぞれ承諾した。
浦山久嗣　西羅美流
※詳しい議題内容等は、総会前に送付しました総会資料をご確認ください。

新連載　**青年部が行く！治療院訪問**
「キュアーズ長町」小松範明先生 ～前編

７月９日。朝から青空が広がる日曜日の午前中、JR 長町駅からほど近い場所にある「キュアーズ長町」の小松範明先生を、鍼灸師歴５年の高橋はるか先生と鍼灸学校３年生３名が訪ねました。治療家としての心構えや開業に至るまでの道程、不妊治療や美容鍼灸についてお伺いするとともに、美容鍼灸を体験させて頂き、時間は瞬く間に過ぎていきました。

今号では、高橋先生と小松先生の対談を中心に掲載いたします。

高橋：卒業から開業するまでの経緯と、開業してからのことを教えて下さい。

小松：短大を卒業後、研究生として２年間、自律神経やサーモグラフィの研究をしながら、付属臨床治療所（付属診療所）で神経難病や婦人科領域を専門にしている先生につきながら臨床を積みました。この時の経験が不妊治療をやることに繋がりました。その後、整形外科に１年間勤務しましたが、この時は１日で 60 名くらい診ており、患者さんを多く見ることでトレーニングになりました。その後、特別養護老人ホームで１年働きました。拘縮・寝たきりの患者さんを診たり、筋トレ・歩行訓練をしたりと、１日 25 名くらいを１人で担当していました。

介護保険導入に伴い職を辞し、28 歳で五橋に開業しました。周りからは「若いよね」とよく言われましたが、若さを逆手にとって、通院してくれる荒町商店街などの商売人の方々から、社会のルールや商売のイロハを教えてもらい、患者さんに育ててもらいました。「『商い』は『飽きない』こと」「鍼灸マッサージを好きでいなさい」「流行り廃りに乗るな」「自分の芯はまげるな」「バリエーションを増やすのはいいけれど、業態を変えてしまってはだめだ」などということを教えてもらいました。

高橋：卒業してから鍼灸師どうしのつながりを作っていくためにはどうしたら良いでしょうか？

小松：学校単位で言えば、同級生・上級生・下級生そして先生方との繋がりを卒業後も続けることです。困ったときに相談に乗ってもらうためにも、先生に忘れられないようにしておいた方がいいです。

また、業団体に入っている先生方は年齢も分野も幅広いので、業団体へ入り、そこの先生方とお付き合いをすることも大事です。さらに、学会や研修会・勉強会へ参加することで活動を広げていくことも鍼灸師の縦横の繋がりを作るためには必要だと思います。

小松範明 先生

キュアーズ長町院長　鍼灸あん摩指圧マッサージ師

(公社)全日本鍼灸学会　(公社)日本鍼灸師会　(公社)宮城県鍼灸師会

(公社)全日本鍼灸マッサージ師会　(一社)宮城県鍼灸マッサージ師会

仙台市鍼灸マッサージ師会　日本受精着床学会

(一社)日本生殖鍼灸標準化機関(JISRAM)

趣味：クライミング、食べ歩き

高橋：これまでの鍼灸マ師人生で心に残っている症例や出来事は何ですか？

小松：たくさんあります。皆さんそれぞれ主訴疾患を持っており、そこに至るまでのそれぞれのストーリーがあります。そのストーリーを聞いているとどれも印象に残るものです。

小児はりでは、発達障害があり発語ができなかった３歳くらいのお子さんが、ある日治療院に入って来たときに、不明瞭ながら「こんにちは」と言った時。お母さんも驚いており、嬉しく心に残っている症例の１つです。

不妊治療では、患者さんの人生に深く関わることになり、患者さんの人生を背負えるのか、医師と連携しながら、患者さんにとっての１チャンス１トライをどこまでバックアップできるのかと、１人１人考えさせられるものがあります。妊娠の報告も嬉しいですが、赤ちゃんを抱っこして顔を見せに連れて来てくれることが本当に嬉しいです。

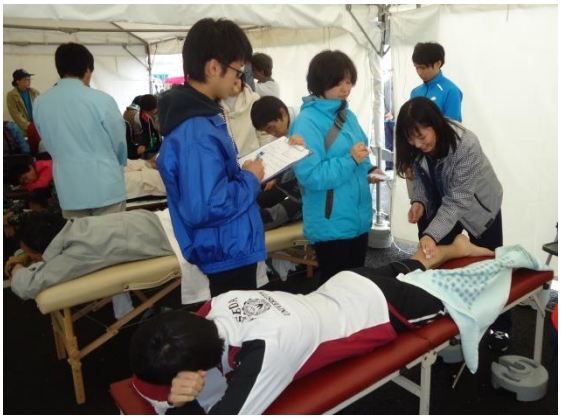
高橋感想：

小松先生との対談で印象深かったのは、基礎をしっかり学ぶことが重要と仰っていたことでした。「初学者はまずは痛くない鍼を打つ技術を高めることが大事で、美容鍼灸や不妊治療というものは、まず体をきちんと診ることができる・体を治せることができる鍼灸師になったその先にある話。将来関わっていきたいというビジョンを持ちつつ、一般的な基礎疾患を治せるようになってから、美容や不妊治療に取り掛かったほうが良い。」とアドバイスを頂きました。

総合力を持ったうえで専門性を持つこと、医療連携や鍼灸連携をしていくために横のつながりを持つこと、レッドフラグの鑑別力・・・そんなお話を伺いながら、まだまだ学ばなければならないこと、知らなくてはいけないことがたくさんあることを痛感しました。

次号では実際に美容鍼灸施術をしていただいた内容、学生の感想などを中心に掲載します。どうぞお楽しみに！

2017/5/14　仙台国際ハーフマラソン　救護ボランティア



今年も、5 月 14 日に行われた仙台国際ハーフマラソン、別名『杜の都ハーフマラソン』の鍼灸ボランティアに参加しました。

今回の参加選手は、公務員ランナーの川内選手や、ベテランの中本選手、それに昨年の仙台国際覇者で、箱根駅伝の元祖、山の神こと今井選手等、全国レベルの選手が招待され、ハーフ、車椅子、５キロ、２キロ含めて、参加選手は、１２，４０５人、インターネットでの申し込みが２９分で締め切りられ、申し込み激戦？の大きな大会でした。

　しかし、当日の天候は、雨…。五月の爽やかな杜の都を期待していた選手には、残念でした。毎年、選手は熱中症との闘いだったようですが今年は雨で気温も低く、体は楽な様でしたが、脛が攣った選手が多くいました。

【東北で良かった】

　東北以外の参加選手も多く、関東圏から来たランナーの感想は、「沿道の声援も途切れることもなく、新緑の中を気持ちよく走ることができました。完走するとフィニシャータオルを貰えるのもうれしい。」「来年、又来ます。」と、沿道での温かい声援や、鍼灸、給水所でのボランティアに感動していました。

臨床経験が少なく、自信が無い新人鍼灸師の方、全く心配ありません。臨床経験豊富な先輩鍼灸師が、指導してくれます。スポーツの鍼灸応用の自信がつきます。マラソン走り終わった選手は皆、気血の周りが良く、ちょっと鍼をしただけで効くので、名人になれた気がします。

　臨床経験積むには、最高の場所だと感じました。

（雄鹿秀一先生）

スキルアップ研修　5/14•6/11

- 5/14　仙台市陸上競技場

  小林　厳先生

  ・コンデショニングケアの実際
  ・足首の捻挫と固定治療法

- 6/11　エル・ソーラ仙台

  高橋　博先生

  ・在宅治療（実際編）

＜在宅治療の実際編・講義風景＞

高齢者福祉施設ケアボランティア　7/2 美里町「いなほの里」

７月２日、大崎市美里町老健施設「いなほの里」鍼灸治療慰問事業を行いました。

会員２名で入所者８名、スタッフ２名に、鍼灸施術を提供し、好評でした。

社会奉仕事業部長　阿部千代人

（事業実施報告書より）

子育て支援事業　5/24　多賀城市「つめ草保育園」

会員４名、参加者は６名（１～２歳児）でした。

来年もやってほしいとのご要望をいただきました

＜前田由紀枝先生による親子ふれあい教室＞

第 51 回東北鍼灸学会 in 山形

今回の参加者は、宮城鍼灸師会から 15 名、全国から総勢で 85 名の大会でした。

この二日間で、2 件の特別講演、6 件の一般口演が行われました。特別講演では、五十肩の徒手検査による鑑別の重要性、腰部脊柱管狭窄症に対し、鍼を用いた患部の血流改善を可視化して確認ができるなど、改めて鍼灸の可能性を認識できました。

一般口演でも、東北六県の各代表者が、不妊治療から五十肩、膝痛まで、鍼灸を用いて、精神面からもアプローチして、疼痛の緩和と共に患者に安心感を与えていることが印象に残りました。口演後の 5 分間の質疑応答では、時間が足りなくなる程白熱した口演もありました。

今回、遠く離れた他県の先生方にもお会いでき、情報交換できたことも収穫でした。

私は開業してわずか２年の新米鍼灸師ですが、口演を聴き、症状に対し私がよく使っている経穴と違うところで治療する先生もいるなど、今回の参加で学んだことを普段の臨床で活かし、日々勉学に臨床に励んでいきたいと思います。

第一日目、一般口演と特別講演が行われ、宮城からの一般口演発表は三浦秀隆先生による『後頚部の血流改善により軽快した胸郭出口症候群』でした。詳しい診察所見と治療方法・治療経過など、短期間で症状の緩和が認められた症例でした。

また、特別講演では、浦山久昌先生が【肩関節痛の診察法と治療法】を講演されました。

治療継続のポイントとして、問診・診察から病態を推測し、適切な治療と生活指導を行うこと、病態と予後についての説明が必要であることを挙げておられました。

実技供覧では、実際の症例のある方がモデルになり実技が行われ、治療後には可動域が増大し、症状の軽減が認められました。

二日目の特別講演は【腰部脊柱管狭窄症に対する鍼治療】東京大学医学部付属病院鍼灸部門、粕谷大智先生の講演でした。ヒトを対象にした臨床研究で、下肢の浅腓骨神経に鍼刺激を行った際、Ｌ5 神経根内の血流低下の改善を認め、遠隔部への鍼刺激で神経根内の血流を改善させる効果が期待できることが示唆されました。

実技供覧では、間欠跛行発生機序である脊柱管内における神経の圧迫や神経内の血流障害を改善するパルス鍼による実技が行われ、下腿部の電気鍼刺激で脊柱管内の血流を改善させる方法を披露されました。

また、狭窄部周囲の筋緊張改善を目的とした、腰部の椎間関節部へのアプローチも紹介されました。

二日間の研修を今後の治療に役立てて行きたいと思っております。

西藤実

県民公開講座　9/10 エルソーラ仙台

当会主催の県民公開講座、今回は福島県立医科大学性差医療センター教授で産婦人科医でもある小宮ひろみ先生をお迎えし、「女性アスリートの健康」について講演して頂きました。月経とスポーツとの関係、食べる事の大切さ、体調管理の大切さなど、女性アスリートが自分自身の体に向き合う必要性を分かりやすくご説明下さり、参加した若いアスリートの皆さんや、保護者、指導者の方々も、熱心に聴き入っていました。

参加した皆さんのアンケートより・・・

月経の仕組み、月経が起きない理由や、それが何を伝えようとしているのか、そのままにしてしまうとどうなるのか、性差の関係など知れた。この講演会を機に、私生活や自分との相談などをもっと意識して、今だけでなく、将来の自分をもっと大切にしていこうと改めて強く感じた。自分の中の健康寿命をもっと少しでも長くなれるようにしていこうと思った。

自分で知らなかった月経のことを詳しく知ることが出来ました。また、疲労骨折が地方大会レベルの方が多いということに驚きました。これからスポーツをするにあたって気を付けようと思いました。

生理に関していろいろな症状があること、又対応の仕方（漢方）も教わり、有意義な講座でした。

私も生理前になると食事をあまり食べられなくなってしまいます。しかし、食事をしないとパフォーマンスが下がってしまったり、体力がなくなってしまったりと、自分にとってマイナスな事が多いことが分かりました。これからはもっと食事に気を付けたいと思いました。

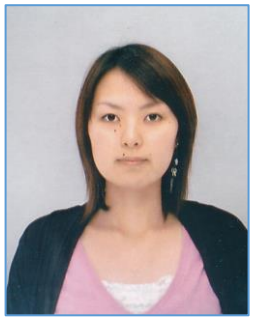
女性を取り巻く環境について、詳しくご説明いただいたこと。何が原因で無月経になるのかが分かり、競技を取り組む上での悪循環を防ぐことが出来ると思います。選手達の中から「もしかしたら・・・」と感じるきっかけになり、よい勉強になりました。本日は、有難うございました。

ようこそ！宮鍼会へ♪

新入会員インタビュー♪

～あらたにお二人が
入会されました～

Q1. 開業または勤務地
Q2. 卒業学校名
Q3. 趣味
Q4. 宮鍼会に望むこと
Q5. 入会にあたりひと言！

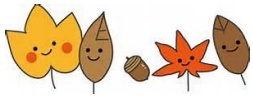


佐々木　理絵

1. 仙台市太白区
2. 赤門鍼灸柔整専門学校
3. 子供とあそぶこと、旅行
4. 鍼灸の素晴らしさをより世界に広めていければ良いと思います。
5. 今後とも、ご指導よろしくお願い致します。

横山　宏聖

1. 仙台市青葉区国見（訪問専門）
2. 仙台青葉服飾医療専門学校（長谷柳絮専門学校）
明治国際医療大学
3 .ドライブ
4. 鍼灸医療や医療について色々なお話をさせていただけたら嬉しいです。
5. 不慣れでご迷惑をおかけいたしますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



皆様よろしくお願い致します！

会員リレーコラム　東洋医学コンシェルジュ　vol.3

前腕 12 寸説 ―WHO 経穴の世界―

2006 年制定の『WHO 国際標準経穴部位』における“取穴のガイドライン”では、前腕の骨度を「12 寸」にするが、『霊枢』骨度篇には「肘より腕(手首のこと)に至るは、長さ一尺二寸半(12.5 寸)」とあり、伝統的な中国医学の長い歴史の中でも、これ以外の説は存在しない。

WHO 経穴でも『霊枢』の説の「簡略」と説明されるが、実のところ、江戸前期ごろの成立と考えられる作者不詳(曲直瀬道三の作とする俗説は誤り)の『鍼灸指南集』や、江戸後期の鍼医･菊地玄蔵の『経絡発明(1753)』などには、「前腕：12 寸」説が主張されており、さらには、柳谷素霊(1906-1959)の直弟子･西澤道允(1911-1994)『臨床東洋医学概論(1958)』にも、まさに『霊枢』骨度の省略型としての「12 寸」説を推奨しているのである。

因みに、日本で使用される「前腕：10 寸」説は、堀 元昌(堀元厚の子；1725-1762)の『淵淵堂挨穴寸尺法(18 世紀中葉)』など、堀流独自の骨度法に由来するものであり、鹿児島鍼灸学校教員の松元四郎平の遺稿を出版した『鍼灸孔穴類聚(1927)』の骨度が全国的に学校教育に反映され普及した。しかしながら、松元が生前著した『鍼灸経穴学(1911)』には『霊枢』と同様の骨度が記載されており、堀流の骨度を松元が全面的に支持していたかどうかは不明な点が多い。

WHO 経穴には日本固有の文献の影響が色濃く反映されており、その基礎となる「中国国家標準経穴」であっても、日本の近世･近代の鍼灸書の影響下にあり、中国固有の伝統鍼灸の影響は圧倒的に少ない。

WHO 経穴が、中国から一方的に押し付けられたものであるかのような発言を聞くこともあるが、実際は、本家であるはずの中国でさえも、日本鍼灸の影響が如何に絶大であったかを証明する結果となってしまったのであった。

執筆：浦山久嗣

平成 29 年度下半期行事予定

10 月 8～9 日　第 13 回日本鍼灸師会全国大会 in 大阪
10 月 15 日　新規事業老人福祉施設訪問計画説明会（エル・パーク仙台）
11 月 3 日　ひとめぼれマラソン（遠田郡美里町）
11 月 23 日　青年部研修会
12 月 10 日　スキルアップ研修（シルバーセンター会議室）
1 月 6 日　宮鍼会新年会　（日程変更あり）
2 月 4 日　スキルアップ研修（会場未定）
3 月 11 日　スキルアップ研修（会場未定）

編集：西羅 美流　／　澤口　史絵